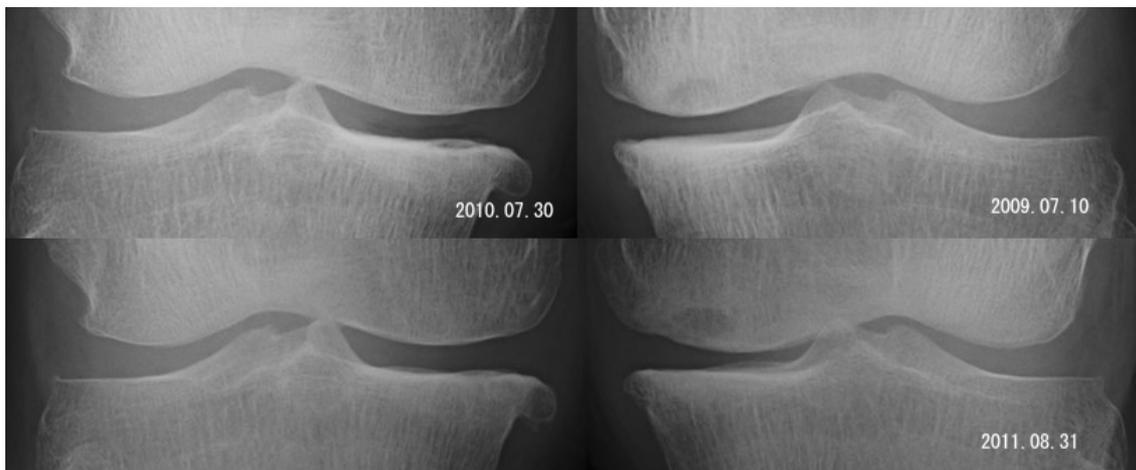
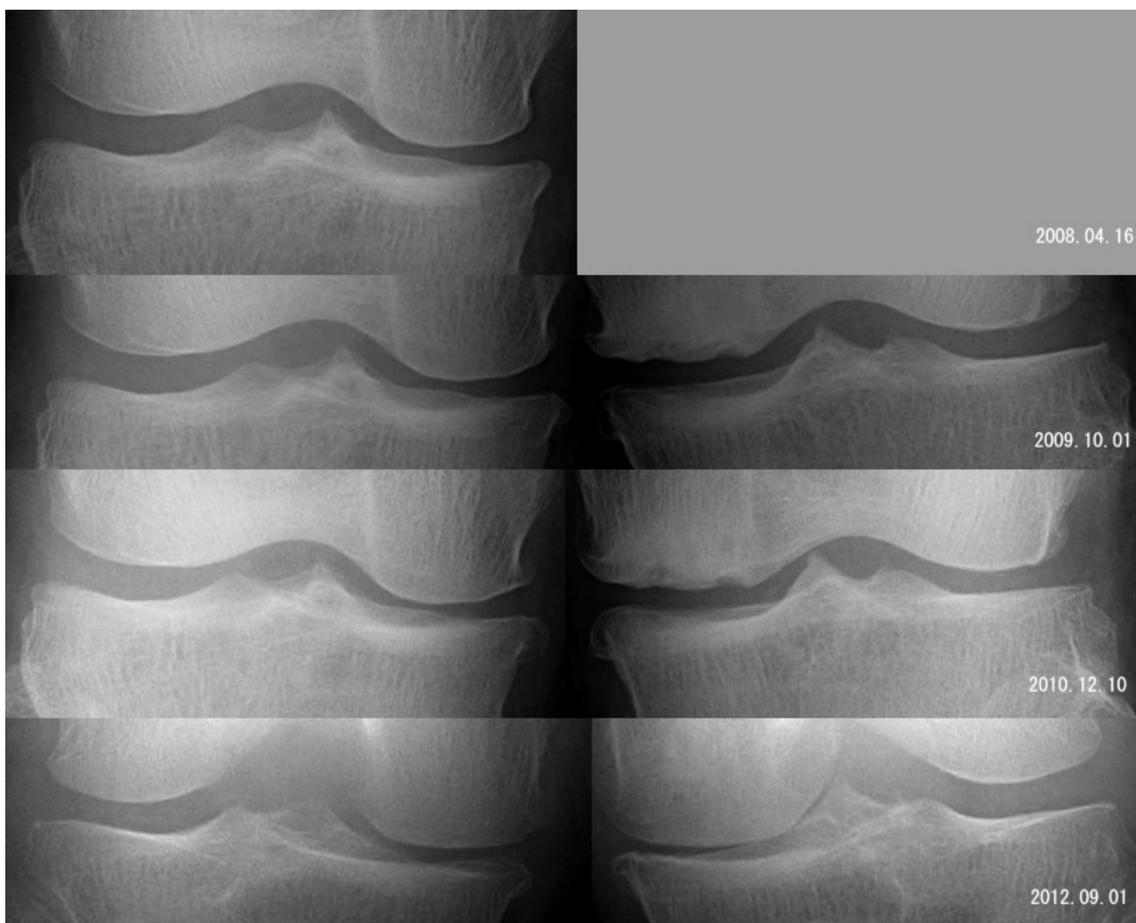


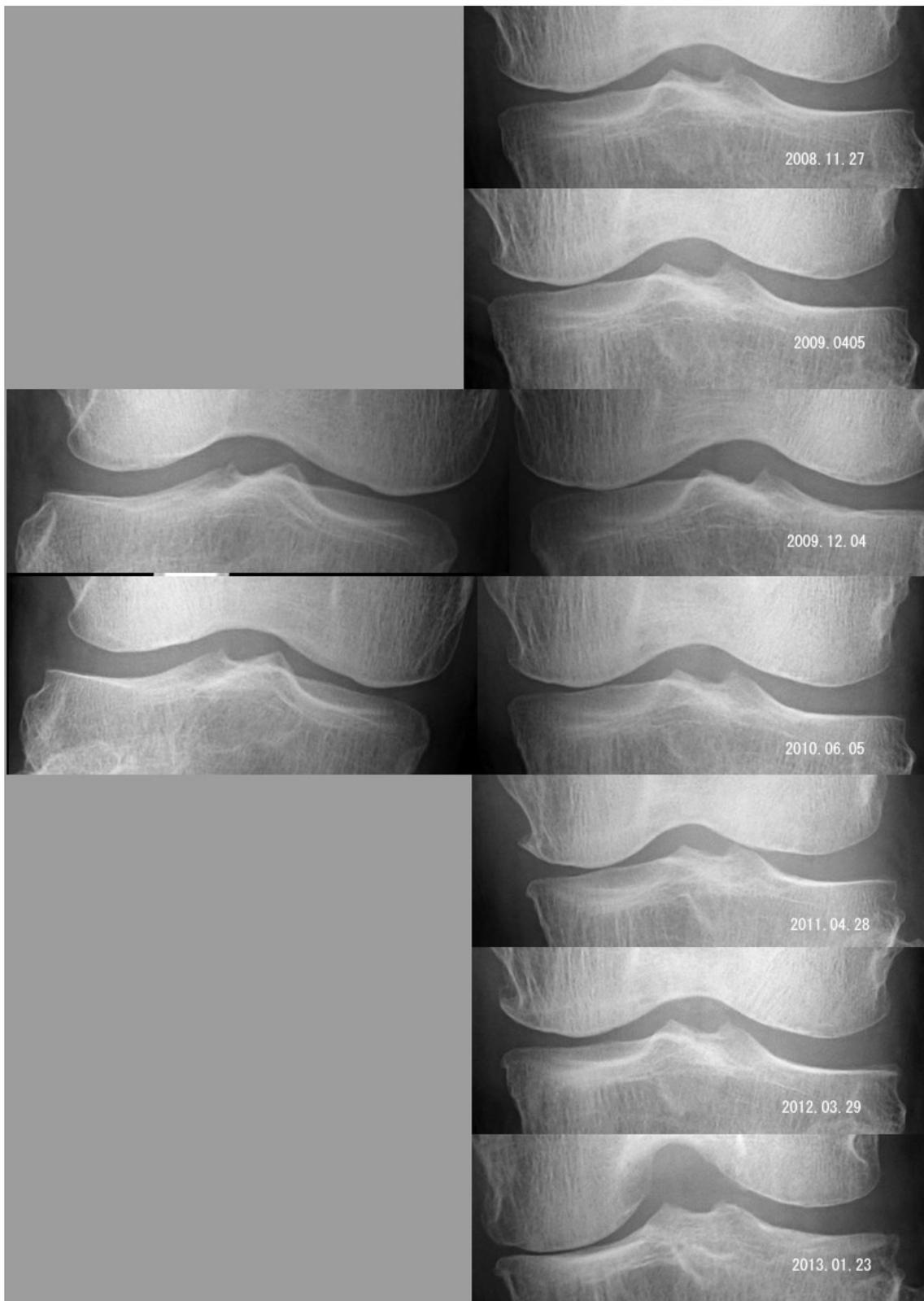
A01



A02 4段目ローゼンバーク法による誇張あり



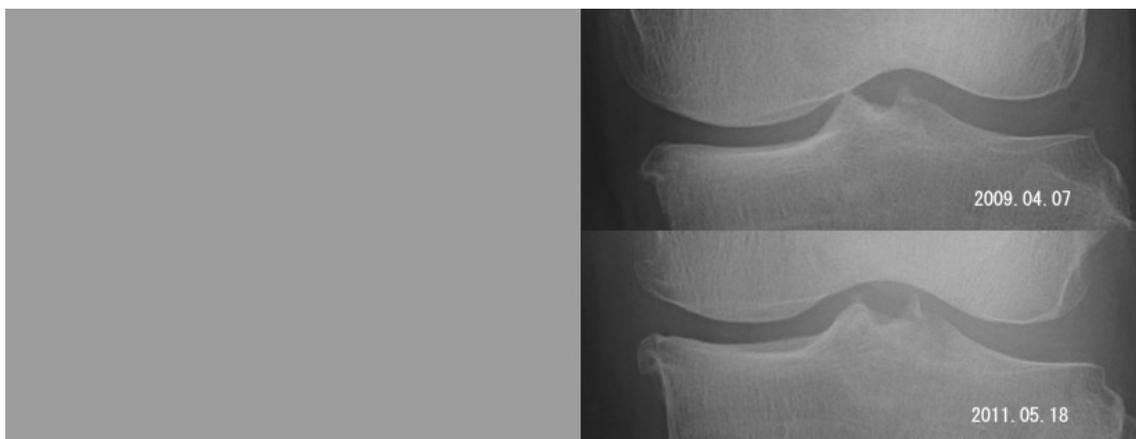
A03 最下段ローゼンバーグ法による誇張あるが経年変化はあり



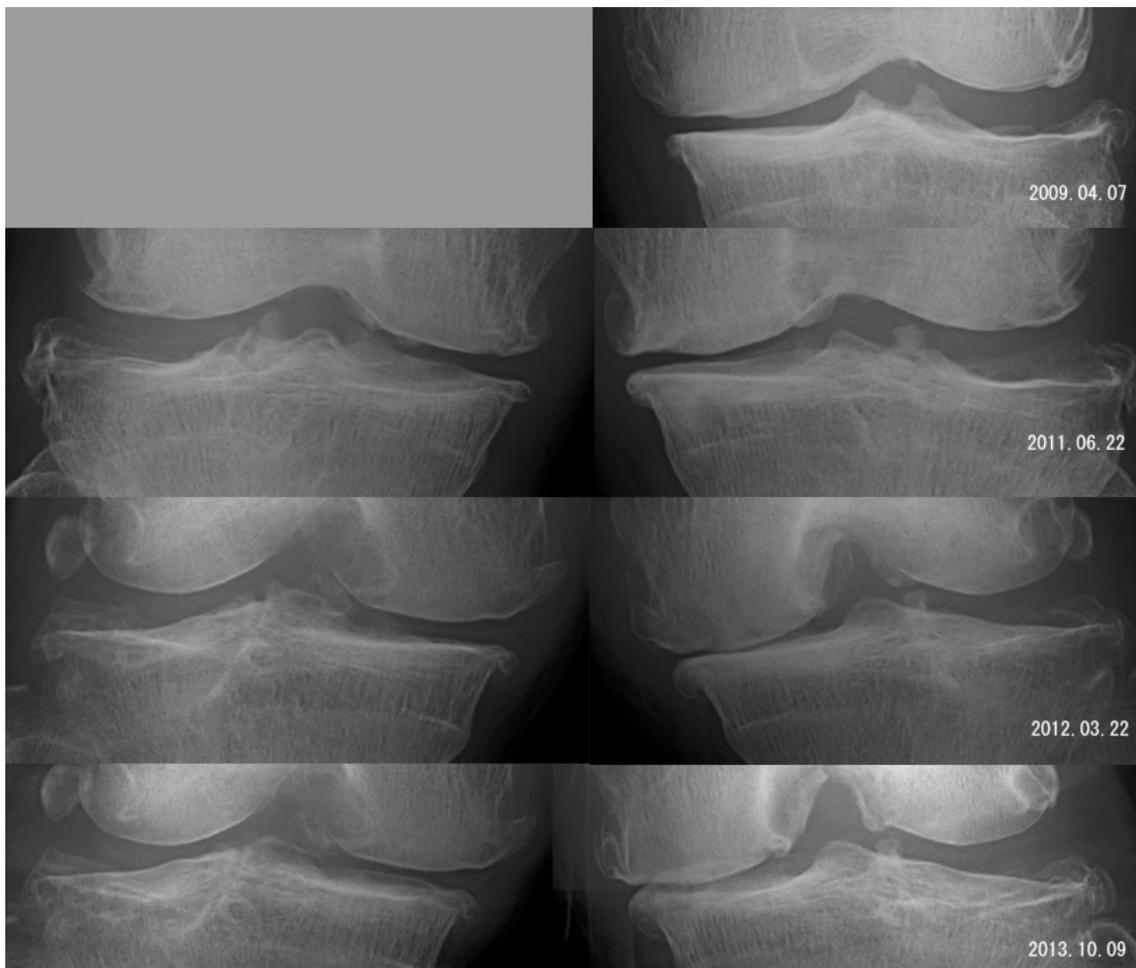
A04



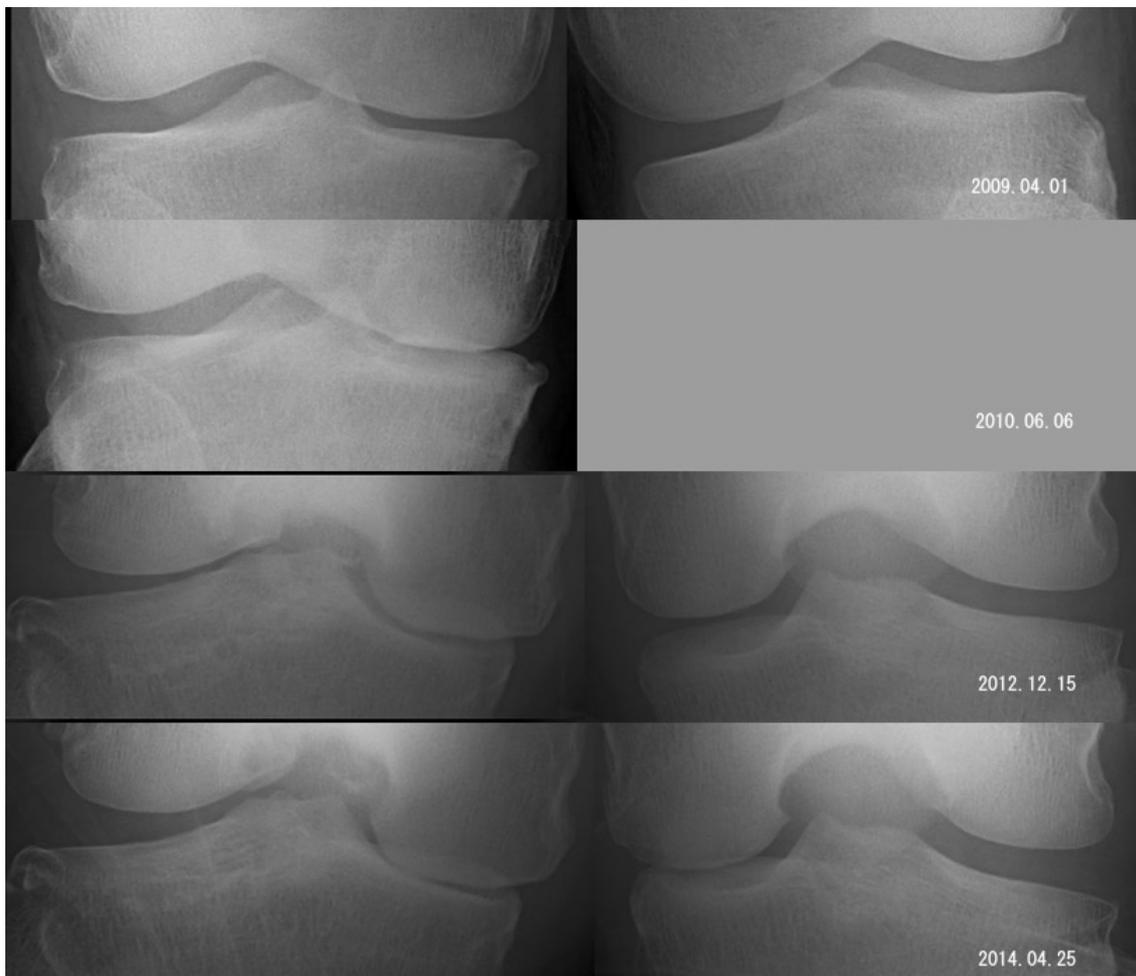
A05



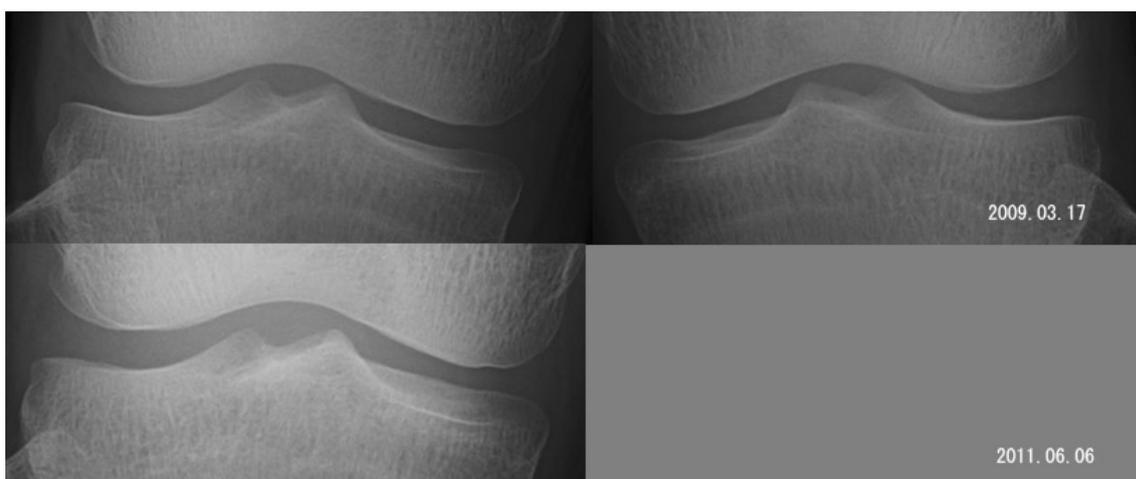
A06 3,4 段目ローゼンバーグ法による誇張あるが、左は stage ↑ 濃厚



A07 3,4 段目ローゼンバーグ法による誇張あるが間隙狭小化は明らかに進行



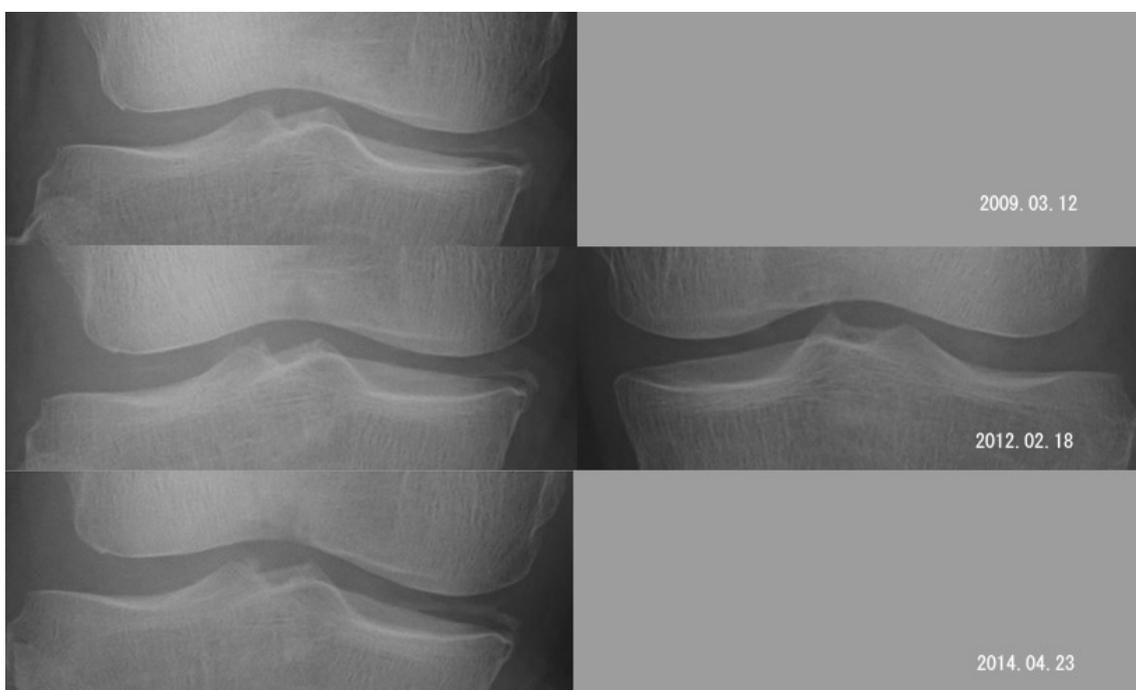
A08



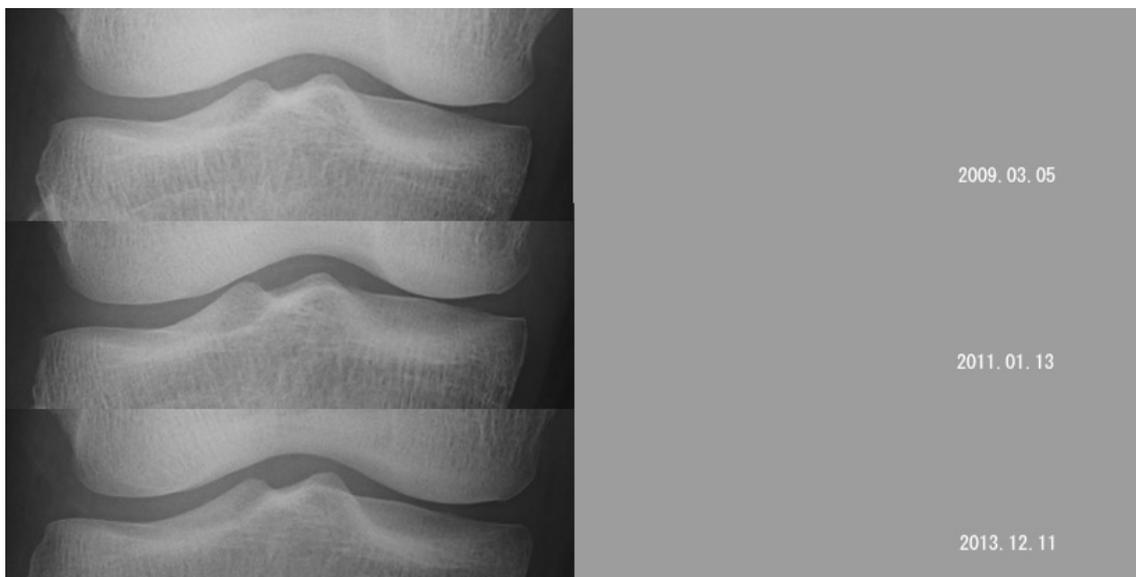
A09



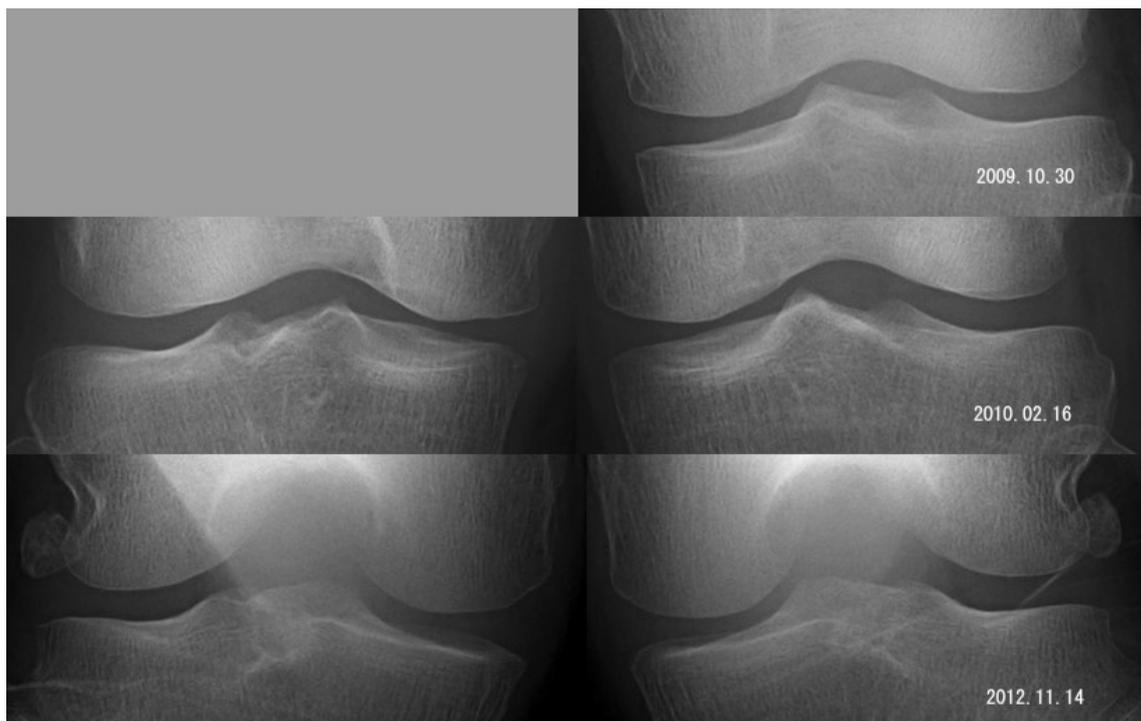
A10



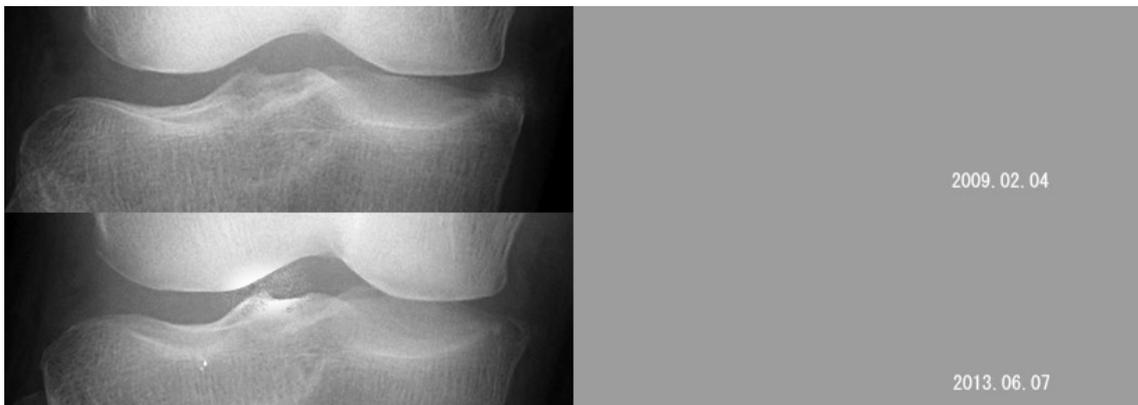
A11



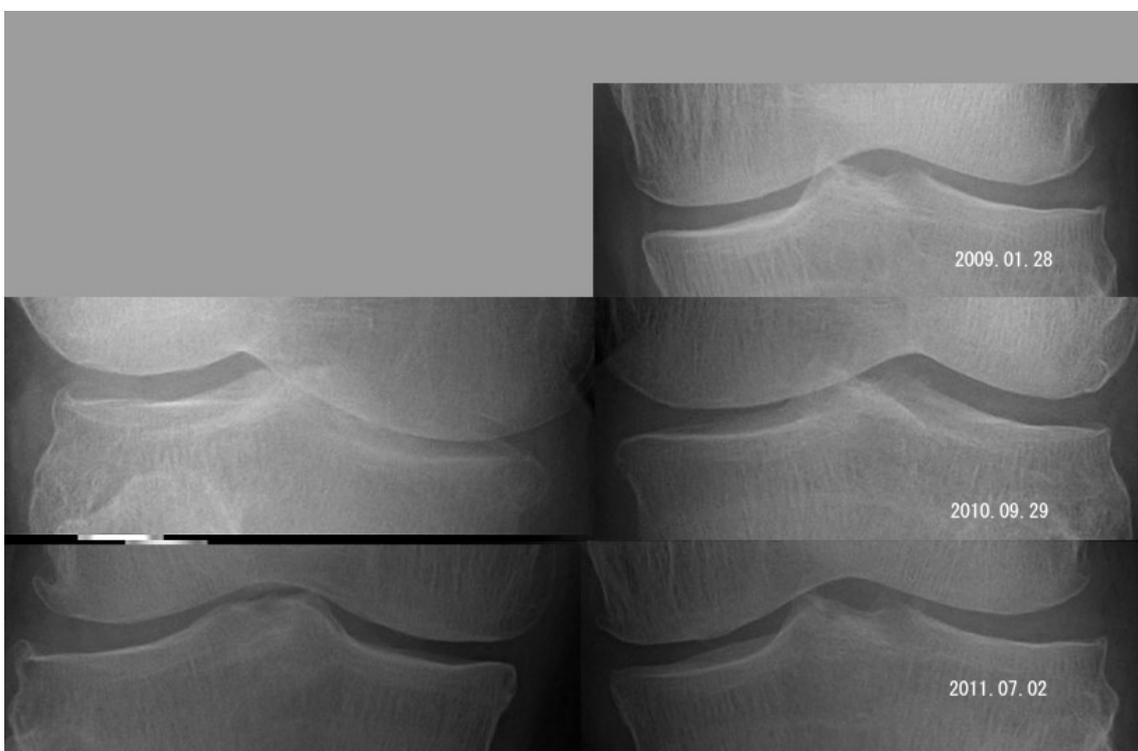
A12 ローゼンバーグ法でも間隙に変化ほとんどなし



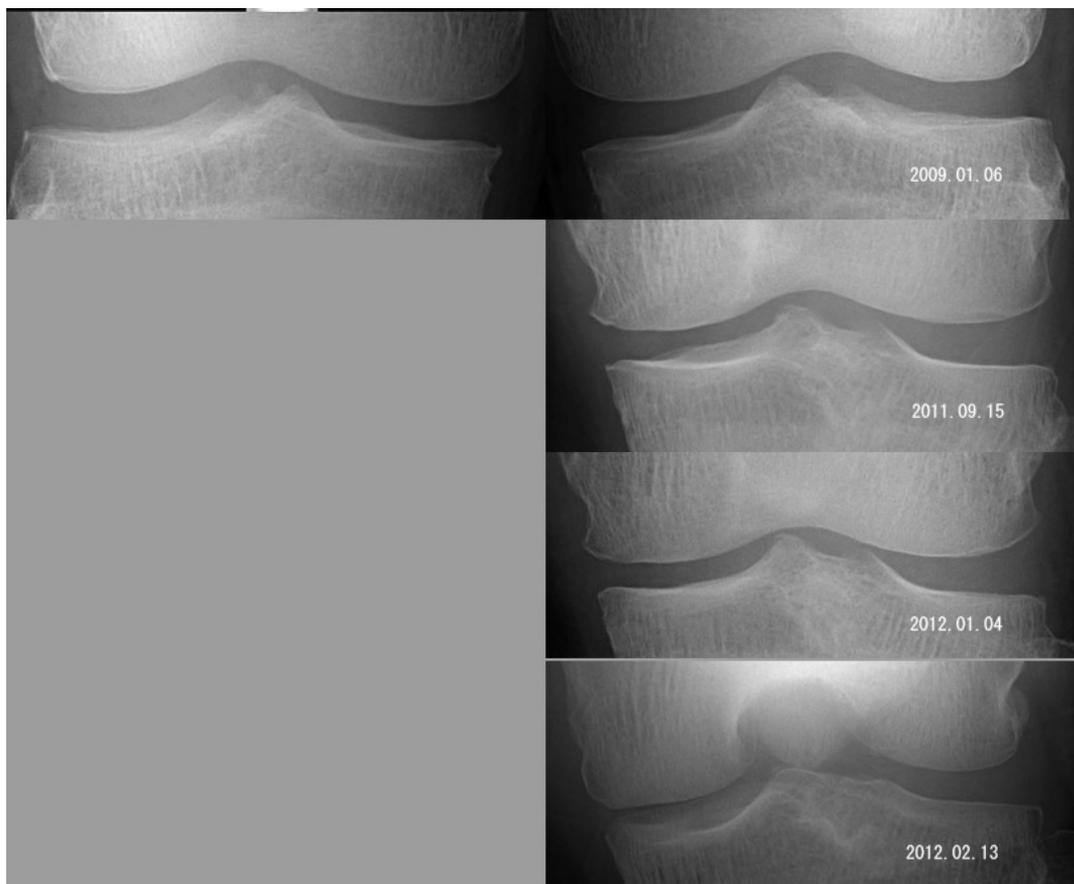
A13



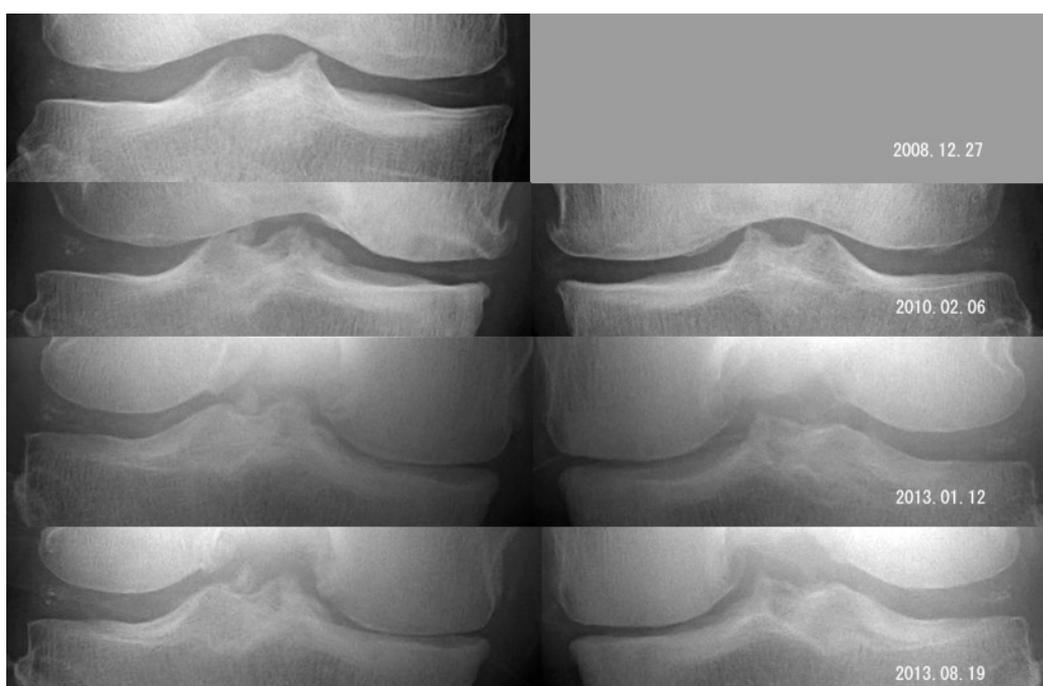
A14



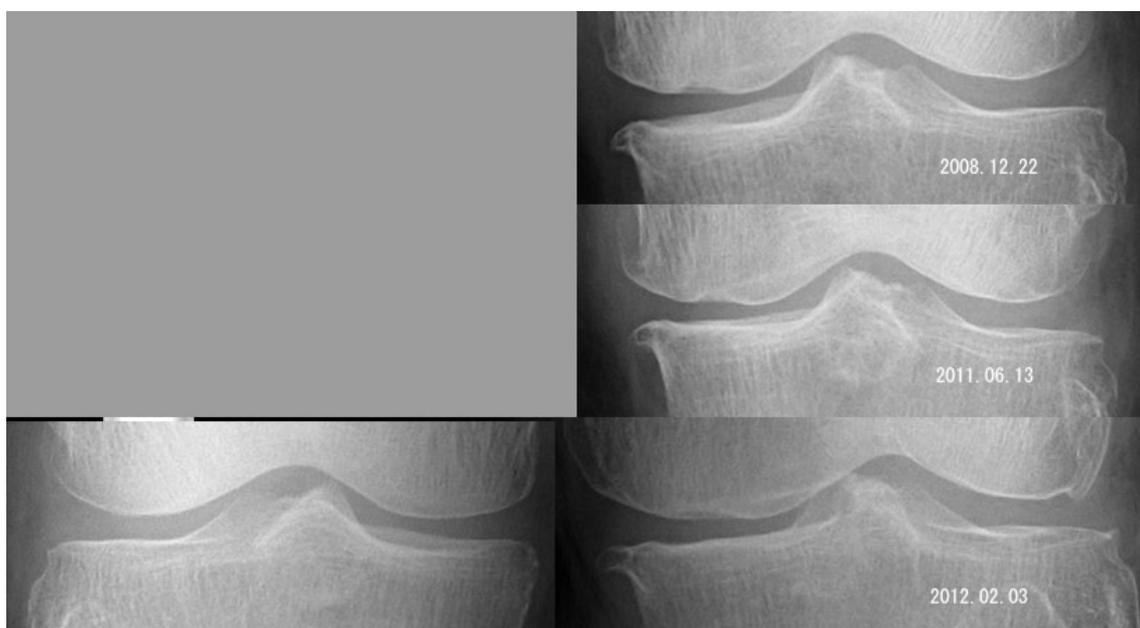
A15 ローゼンバーグ法でも間隙に変化ほとんどなし



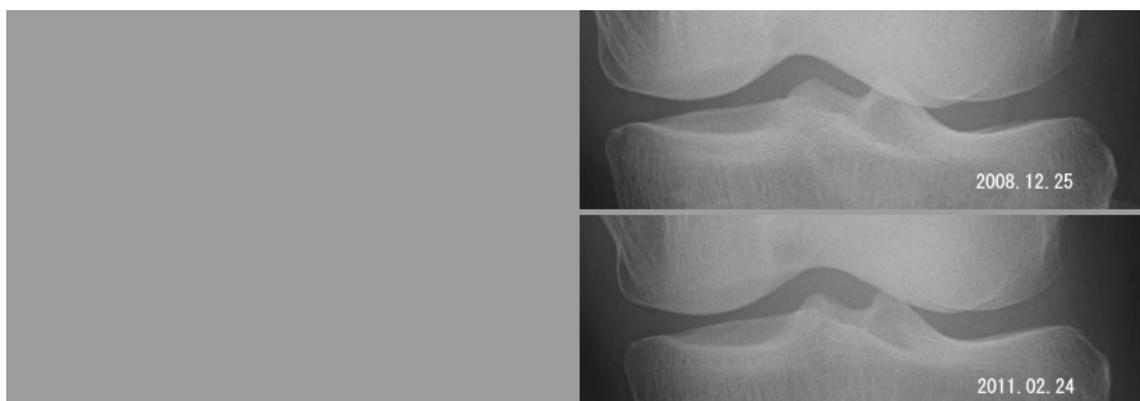
A16 ローゼンバーグ法による誇張を差し引いても変形は進行している



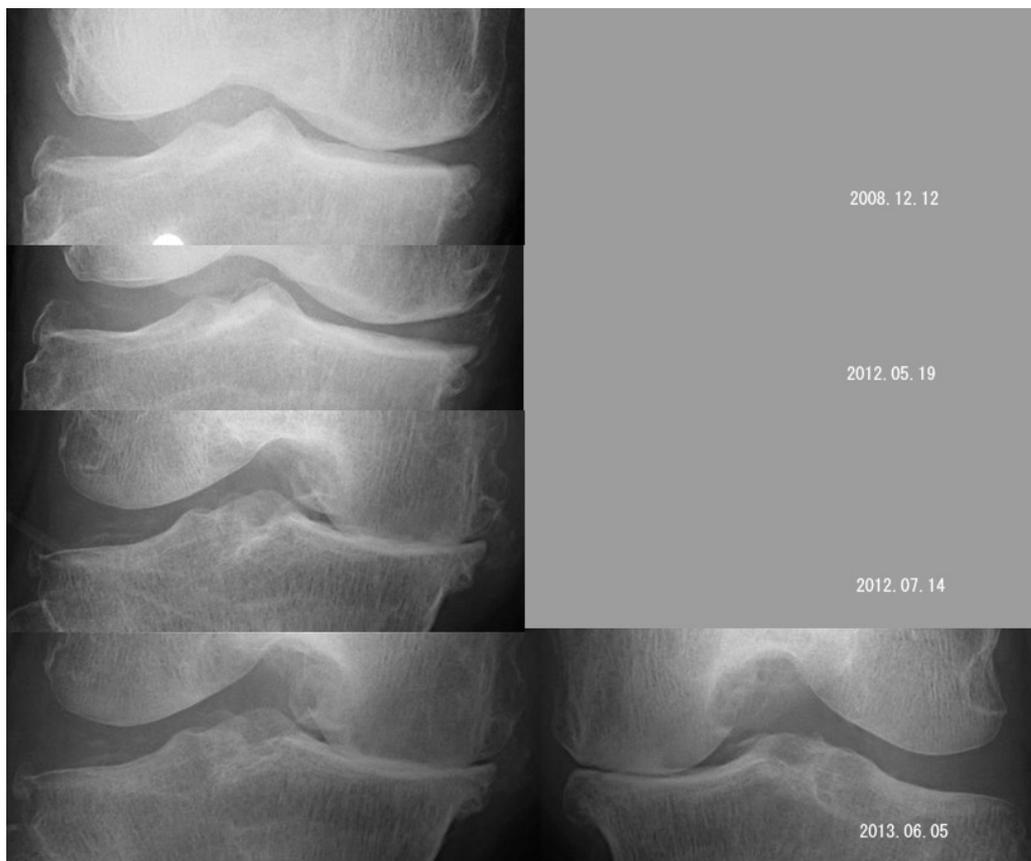
A17



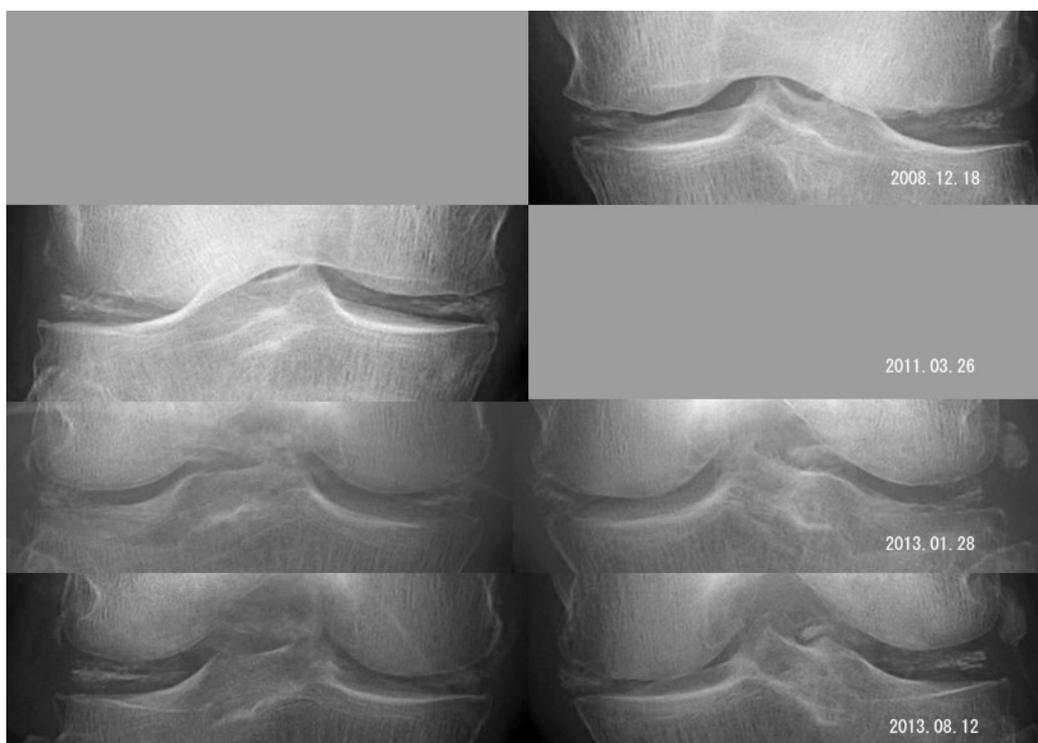
A18



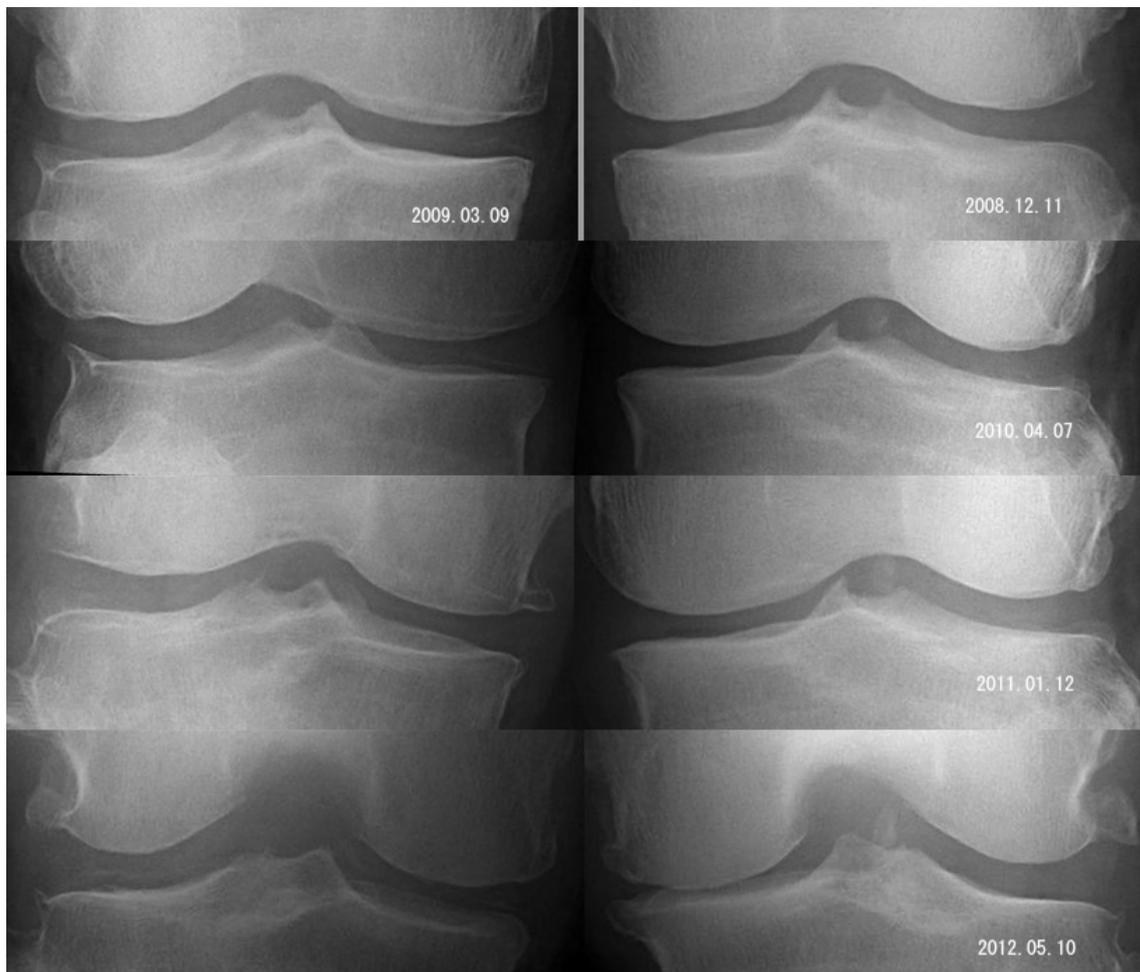
A19 ローゼンバーク法による誇張を差し引いても stage は進行している



A20 左右共にローゼンバーク (3-4 段目) 同士の比較で変形が進行



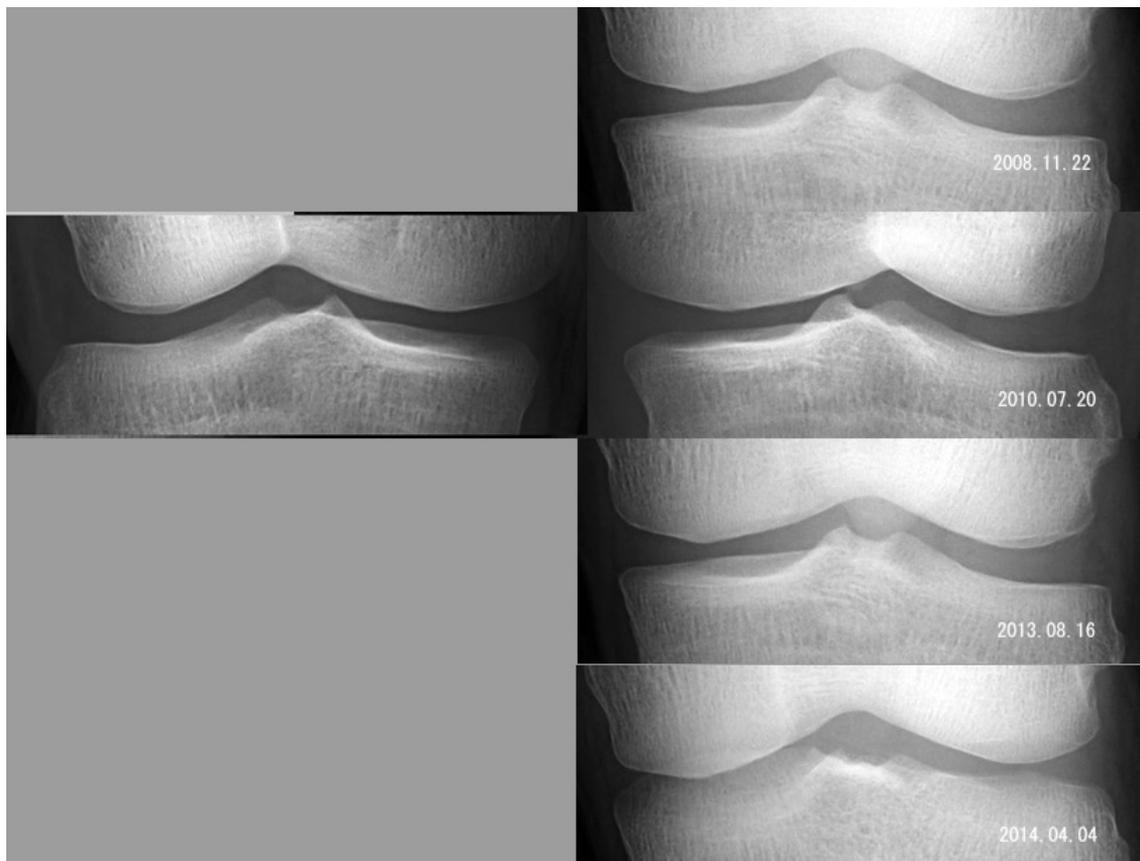
A21 ローゼンバーク法での誇張あるが、左は骨棘が進行、間隙も狭小している



A22



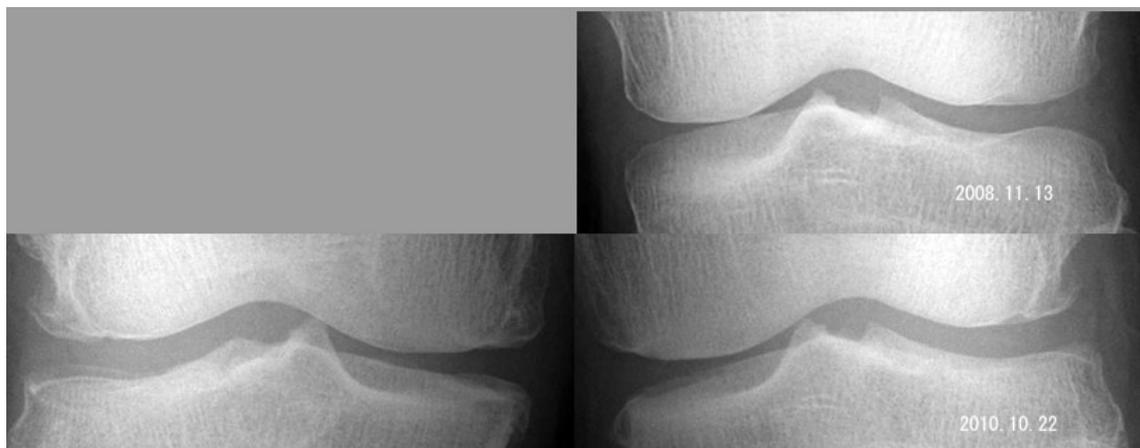
A23



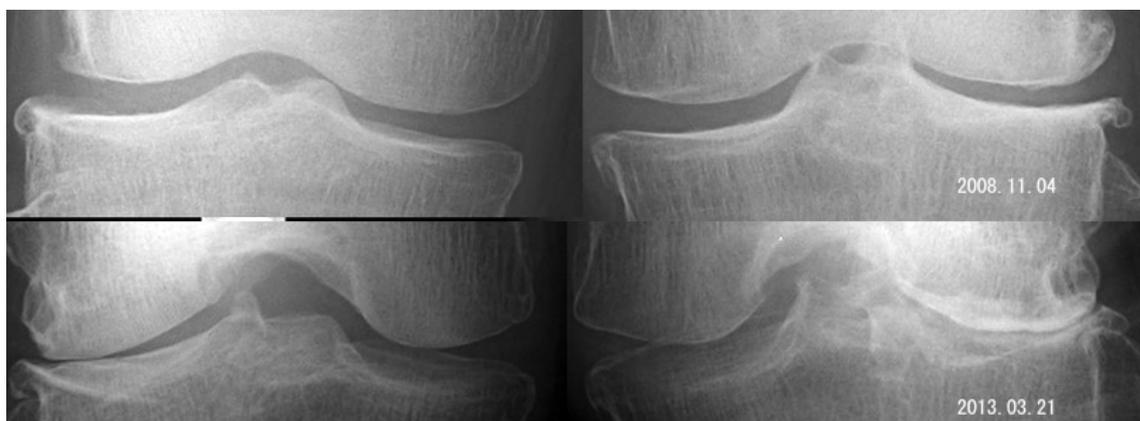
A24



A25 撮影角度の違いにより単純比較不可



A26 ローゼンバーク法での誇張はあるが stage 進行



A27 ローゼンバーク法での誇張はあるが stage 進行

